

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの保健演習	科目コード	50419	担当者	光武 きよみ		
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	選択		
						免許・資格要件	保育士資格必修		
科目の主題						成績評価の方法と割合			
乳児への関わり方の基礎技術や子どもの健康増進のための援助方法を、演習を通して学ぶ						受講態度(20%) 臨時試験(30%) 実技試験(50%) 定期試験を行うこともある			
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標			
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)	
1.	乳児保育に必要な基礎技術を習得することができる					○	○	○	
2.	子どもの健康増進及び心身の発達・発育を促すための環境について理解し、述べることができる						○	○	
3.	緊急時の処置法や安全管理について理解し、実施することができる					○	○	○	
4.									
5.									
授業方法									
講義および7名程度のグループに分かれての演習。演習ではグループ内で協力しながら援助方法を実践していく。必要に応じてプリント、パワーポイント、ビデオ等を使用する。									
準備学修(予習、復習等に必要時間または具体的な学修内容)									
日頃から乳幼児の環境や関わり方に関心を持っており、事前学習を行い授業に臨むこと									
授業計画									
第1回	乳児の抱き方、背負い方、寝かせ方(講義・演習)								
第2回	演習及び実技チェック								
第3回	衣服の選択・着脱、歯磨きについて(講義)								
第4回	演習及び実技チェック								
第5回	排泄、オムツ交換について(講義)								
第6回	演習及び技術チェック								
第7回	身体測定・発育評価、体温・呼吸測定(講義・演習)								
第8回	子どもの体調不良時の対応の仕方、身体の温め方、冷やし方(講義)								
第9回	子どもの体調不良時の対応の仕方、身体の温め方、冷やし方(演習)								
第10回	授乳について(母乳・人工乳)								
第11回	からだを清潔に保つために:沐浴など(講義)								
第12回	演習及び技術チェック								
第13回	薬の与え方(講義・演習)								
第14回	緊急処置及び救急蘇生法の習得(講義・演習)								
第15回									
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
「子どもの保健—理論と実際」 岸井勇雄ほか監修(同文書院)					子どもの発育・発達を理解した上で、月齢に応じた対応の仕方を、演習を通して身につけていきましょう。保育士の仕事に直結する科目でもありますので、楽しみながら学んでください。				